

『マーティ』		原題 <i>Marty</i>	1955 年	執筆：清水 純子
制作国	アメリカ			
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ: 監督: デルバート・マン/ 脚本: パディ・チャイエフスキー/ 製作: バート・ランカスター (クレジットされなかったが、予告編に登場する) / キャスト: アーネスト・ボーグナイン/ マーティ・ピレットティ/ ベッツィ・ブレア/ クララ・スナイダー / エスター・ミンチオッティ: テレサ (マーティの母) / ジョー・マンテル: アンジー (マーティの友人) /			
画像				
カラー・モノクロ	モノクロ			
時間	91 分			
ストーリー	34 歳の肉屋マーティは、知性、人柄においてすぐれているが、醜男であるために縁遠く、女性には断られてばかりでデートもできない。イタリア系の大家族主義にしたがって、父の死後、マーティは決まっていた大学進学をあきらめて弟妹の面倒を見て、今は母と二人暮らしである。周りの人々は、独身のマーティを気遣って、結婚をせかすが相手がない。そんなマーティは、パーティでもてない女性クララと意気投合する。NY 大学出の化学の高校教師クララは、インテリで気立てもいいが、母はイタリア系でないことと、大学出の女は娼婦と紙一重だとして嫌う。同じく独身の親友もクララをよく思わない。でもマーティは、クララとのデートを続け、いずれプロポーズすることを決心する。			
時代設定	20 世紀半ば			
場所	アメリカ合衆国ニューヨーク州ニューヨーク市ブロンクス			
社会背景	第二次大戦後、名実ともに世界一の都に上りつめていくニューヨーク。第二次世界大戦でダメージを受けなかったニューヨークは、ロンドンを押さえて世界一の金融市場にのし上がり、パリにとってかわる抽象表現主義を中心とする芸術の都となった。好景気のために建設ラッシュが続き、マンハッタン・ミッドタウンの様相は、著しく変わった。1930 年代以降から「公共住宅」の建築が始まり、マンハッタンでは、低所得者層用の住居に変わってアパート・コンプレックスが建設される。しかしブルックリン区の多くの市営アパートは、低所得者層向けアパートで家賃を市が負担していた。石油王ロ			

	ックフェラーのおかげでニューヨークに国際連合本部が設立される。NYにはロックフェラー財団、フォード財団、リンカーンセンターの設立が続く。
文化的背景	男女ともに結婚して家庭を持たなければ一人前として認められない社会構造、適齢期を過ぎて一人である者を気遣ってなんとか所帯を持たせようと心配する周囲の人々の存在はうっとうしいが親身である。イタリア系の大家族主義が残っていて、親も子も頼り合って生きるが、現代のような深刻な疎外感がみられない。家庭の安泰が世間の信用につながった時代でもある。
使用言語	英語
テーマ	20世紀中庸のブルックリン庶民の恋愛と家庭生活、親と子供の自立、未婚男女に対する世間の目。
みどころ	ルックスがよくないために結婚できない男マーティが、気が合う女性を見つけ、自信を取り戻し、親からも精神的自立をはかる。独り者の息子を心配するが、特定の女性ができるときに入らない母親の複雑な心境。
印象深いせりふ	MRS. FUSARI : When you gonna get married, Marty? You should be ashamed of yourself. All your brothers and sisters, they all younger than you, they married and they got children. I just saw your mother inna fruit shop, and she says to me, "Hey, you know a nice girl for my boy Marty?" Watsa matter with you? That's no way. Now you get married. MARTY : (his old amiable self) When you gonna get married, Angie? Aren't you ashamed of yourself? You're thirty-three years old. All your kid brothers are married. You oughta be ashamed of yourself.
授業教材用 メリット	1950年代ニューヨーク・ブルックリンの庶民生活がよく描かれている。一昔前の日本の状況と驚くほど似ている部分が多く、非常にわかりやすく感情移入しやすい。
授業教材用 デメリット	よくできた作品だが、モノクロ。因習的で古めかしい考え方と生き方なので、現代の若者が反発する可能性がある。
映像入手元	ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント/ 20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン/
原作の有無	エパディ・チャイエフスキーのTVドラマ
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 100，観客 88）
キーワード	ニューヨーク、ブルックリン、下町、肉屋、結婚、独身、周りの目、ダンス・パーティ、デート、家庭、嫁と姑、世間体、親と子、自立、都会、イタリア系、教会、恋愛関係、縁遠い男女、醜男の悩み。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。